

ながたの交通事故ミニ白書

(長田警察署・令和7年11月末)

○ 交通事故発生状況

区分 年	人身事故件数	自転車事故 (件数)	自転車事故 (構成率)	死者数	負傷者数	重傷者数	物件事故件数
令和7年11月末	229	80	34.9%	1	258	9	1,535
令和6年11月末	261	78	29.9%	0	295	20	1,496
前年同期比	-32 +	2 +	5.0% +	1	-37	-11	39

○ 時間帯別発生状況

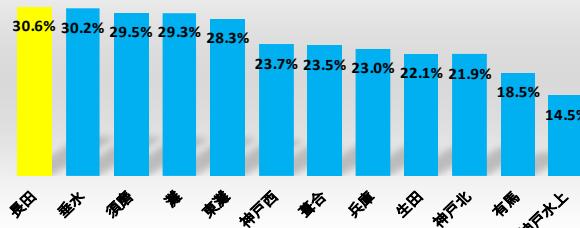


○ 関係事故件数

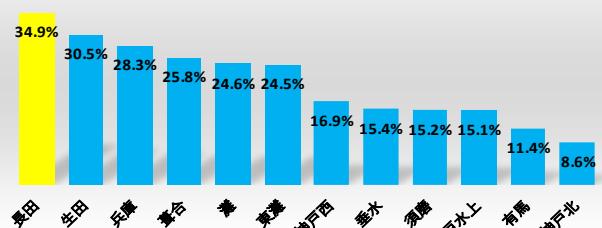
※構成率（人身事故に占める割合）の高い順番

区分	神戸市内		長田区				
	件数(合計)	構成率(平均)	件数	構成率	前年同期比	市内ワースト R6	市内ワースト R7
二輪車	898	25.1%	70	30.6%	+ 0.3%	3	1
自転車	749	20.9%	80	34.9%	+ 5.0%	2	1
高齢者(65歳以上)	1,245	34.8%	93	40.6%	+ 3.1%	4	2

二輪車関係事故占有率(R7.11)



自転車関係事故占有率(R7.11)



○ 実践しよう横断歩道合図（アイズ）運動プラス

横断歩道合図（アイズ）運動

①		道路を横断する時は横断歩道のあるところを渡りましょう。
②		横断歩道を渡る場合、歩行者は接近して来る車のドライバーに合図を送りましょう。（手を挙げる動作とアイコンタクト）
③		ドライバーは歩行者に「渡ってください」の横断合図を送りましょう。（手を挙げる動作とアイコンタクト）
④		歩行者は安全確認し、横断歩道を渡りましょう。ドライバーは、歩行者が通過するのを確認した後、発進しましょう。

横断歩道手前減速運動

	ダイヤマークは「この先に横断歩道または自転車横断帯があること」を意味しています。このマークを見たらアクセルから足を離し、その後の横断歩道に歩行者等がいた場合に確実に停止できる準備をしましょう。
	これ違反です 横断歩道等またはその手前の直前で停止している車等がある場合は一時停止しなければなりません。